

**魚種（海域）：キチジ（道東太平洋海域）**

担当：釧路水産試験場（澤村正幸）

**要 約**

評価年度：2019年度（2019年1月～2019年12月）

2019年度の漁獲量：256トン（前年比1.17）

来遊水準の指標	北海道への来遊水準
漁獲量	中水準

漁獲量は256トンで前年を上回った。漁業種別の漁獲量はえびこぎ網（30トン）が前年を下回り、沿岸漁業（146トン）及び沖合底びき網漁業（79トン）が前年を上回った。沖合底びき網漁業の努力量は前年から増加した。本海域への来遊水準は漁獲量から中水準と判断された。

**1. 資源の分布・生態的特徴****(1) 分布・回遊**

大陸棚斜面の水深150～1,200mに分布し、特に200～600mの水深帯に多い。比較的浅い海域では若齢魚の割合が高い。短期的には大きな移動回遊は行わず、根付性が強いと考えられている。ただし長期的には成長に伴い北から南に向かう長距離の移動を行っている可能性がある<sup>1)</sup>。

**(2) 年齢・成長（加齢の基準日：4月1日）**

(4月時点)

満年齢	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
体長(cm)	6	10	13	16	18
体重(g)	6	25	60	100	150

(濱津・服部<sup>2)</sup>より)**(3) 成熟年齢・成熟体長**

- ・オス：3～4歳から成熟する個体がみられ、体長20～21cm以上で50%以上が成熟する<sup>2)</sup>。
- ・メス：体長16cm、3～5歳から成熟する個体がみられ、体長26～27cm以上、6歳以上で半分以上が成熟する<sup>3)</sup>。
- ・産卵期：3～5月、最盛期は3～4月と推定されている<sup>2)</sup>。
- ・産卵場：襟裳岬・釧路・落石沖の山状の地形の周辺（水深400～850m）である<sup>1)</sup>。

**(4) その他**

卵は浮遊性の卵塊として産み出される<sup>4)</sup>。

**2. 漁業の概要****(1) 操業実勢**

漁業	漁期	主漁場	主要な漁具	着業規模
沖合底びき網漁業	1-5月, 9-12月	道東	かけまわし オッター	十勝：2隻(か)(2019許可) 釧路：7隻(か), 2隻(オ)(2018許可)
えびこぎ網漁業	3-12月	道東	えびこぎ網	2隻
刺し網漁業	1-12月	道東	刺し網	

(か)：かけまわし，(オ)：オッタートロール

**(2) 資源管理に関する取り組み**

現在，具体的な資源管理方策は行われていない。

**3. 漁獲量および漁獲努力量の推移****(1) 漁獲量**

沖合底びき網漁業の漁獲量は1985年には365トンであったが，その後減少が続き，2008年には過去最低の7トンまで減少した。2011年以降に急速に増加して2015年に153トンとなったあと，再び減少している。2019年は79トンで前年(66トン)を上回った(図1，表1)。えびこぎ網漁業の漁獲量は1985年には207トンであったが，その後減少が続き，1990年以降は100トンを下回る状態が続いている。2019年は30トンで前年(43トン)を下回った。その他沿岸漁業の漁獲量は1985～1996年には190～393トンの範囲で変動していたが，1990年代後半に減少し，2001年以降は91～155トンで推移している。2019年は148トンで前年(110トン)を上回った。

2019年の当海域の漁獲金額の総計は8.3億円であった(前年6.9億円)。

**(2) 漁獲努力量**

努力量の指標として，道東太平洋海域での沖合底びき網漁業についてトロール及びかけまわしの有漁曳網回数を用いた(図2)。トロールの努力量は1980～1985年にはおおむね年間8千回以上であったが，1986年以降は減少を続け，2008年には過去最低の261回となった。その後やや増加し，2010年以降は年間1,000回前後の値で推移している。2019年は937回で前年(934回)からほぼ横ばいであった。かけまわしの努力量は1980年から1990年までおおむね年間2,000回前後で推移していたが，1991年以降は減少を続け，2011年に過去最低の90回となった。その後やや増加し，2012年以降はおおむね年間200～300回となっている。2019年は419回で前年(261回)から大きく増加した。

#### 4. 資源状態

当資源は道東太平洋沖合に広く分布していることが想定されるため、資源全体の動向は不明である。

#### 5. 北海道への来遊状況

##### (1) 主漁場における漁獲状況

道東海域におけるキチジの漁獲量は、1980年代の高水準から減少し、1990年代には中水準、2000年代に低水準へと減少した。しかし、2011年以降増加に転じ、2013年には300トンを超えた。2014年に286トンに減少したが、2015、2016年と300トン以上の漁獲があった。その後2017年に255トン、2018年は219トンと再び減少した。2019年の漁獲量は256トンで前年の117%であった。

水産研究・教育機構のトロール調査によると、分布密度は、2014年から減少傾向であったが、2019年は前年を上回った<sup>5)</sup>。

##### (2) 2019年度の北海道への来遊状況：中水準

道東太平洋海域における漁獲量の合計値を来遊状況を表す指標とした。1995～2014年の20年間における平均値を100として100±40の範囲を中水準とし、その上下を各々高水準、低水準とした。2019年の資源水準指数は103となり、中水準と判断された（図3）。

##### (3) 今後の動向：不明

評価海域外にも広く分布していることが想定され、資源全体の状況について把握することが困難なため、今後の動向については不明である。

## 評価方法とデータ

### (1) 資源評価に用いた漁獲統計

沖底漁獲量	北海道沖合底曳網漁業漁場別漁獲統計 中海区「道東」のキチジ漁獲量と網数の合計値。
沿岸漁獲量 えびこぎ網漁業 その他漁業	えびこぎ網漁業漁獲成績報告書 漁業生産高報告（1985～2018年）および水試集計速報値（2019年） 集計範囲：十勝～根室振興局 ただし、根室振興局は根室市のみ集計。

### (2) 漁獲努力量（沖底有漁曳網回数）の算出方法

道東太平洋海域における沖合底曳網漁業について、トロール及びかけまわしのキチジ有漁網数を漁獲努力量の指標として用いた。

## 文 献

- 1) 木下貴裕，國廣靖志，多部田修：標識放流に基づくオホーツク海南部におけるキチジの回遊．日水誌．65(1)，73-77（1999）
- 2) 濱津友紀・服部努：キチジ（太平洋北海域）．漁場生産力変動評価・予測調査報告書（平成 13-17年度）．（2002-2006）
- 3) 濱津友紀：道東太平洋海域におけるキチジの春季の成熟度と孕卵数．漁業資源研究会議北日本底魚部会報．26，33-39（1993）
- 4) 深滝弘：太平洋北西部から採集されたキチジの浮性卵囊．日水研報．11，91-100(1963)
- 5) 加賀敏樹，濱津友紀，境磨：令和元(2019)年度キチジ道東・道南の資源評価．令和元年度魚種別資源評価．水産庁 国立研究開発法人水産研究・教育機構，2020．（オンライン），< <http://abchan.fra.go.jp/digests2019/details/201939.pdf>>

表1 道東太平洋海域におけるキチジの漁業別漁獲量（単位：トン）

	沖合底びき網	えびこぎ網	その他沿岸漁業*				合計
			十勝	釧路	根室	小計	
1985	365.4	206.6	37.5	22.0	333.6	393.1	965.1
1986	286.5	207.0	12.3	23.7	162.9	198.9	692.4
1987	257.8	159.3	14.8	11.7	244.1	270.6	687.7
1988	298.3	132.4	11.4	64.5	348.5	424.4	855.1
1989	203.5	109.8	4.2	16.2	294.7	315.1	628.4
1990	161.8	97.5	2.6	24.4	162.5	189.5	448.8
1991	146.2	84.0	2.3	23.5	229.6	255.4	485.6
1992	138.7	83.0	3.3	154.8	289.7	447.8	669.5
1993	126.3	79.9	3.8	40.1	258.3	302.2	508.4
1994	85.2	69.4	6.0	46.4	236.5	288.9	443.5
1995	88.5	81.2	7.3	221.1	223.2	451.6	621.3
1996	113.1	74.5	5.5	8.3	180.6	194.4	382.0
1997	94.4	75.7	2.7	14.1	169.7	186.5	356.6
1998	53.5	66.5	0.3	0.1	142.9	143.3	263.3
1999	36.8	44.4	8.5	0.2	170.0	178.7	259.9
2000	19.5	24.2	1.9	0.3	162.0	164.2	207.9
2001	54.2	20.6	2.3	0.1	127.7	130.1	204.9
2002	68.4	24.8	7.3	0.5	147.5	155.3	248.5
2003	33.1	21.4	12.9	0.9	103.7	117.5	172.0
2004	61.1	14.3	49.5	0.7	91.5	141.7	217.1
2005	50.0	29.4	2.7	0.8	114.2	117.7	197.1
2006	44.3	28.8	0.4	0.1	111.6	112.1	185.2
2007	50.8	26.0	4.7	0.2	106.6	111.5	188.3
2008	7.3	21.8	0.4	0.3	90.3	91.0	120.1
2009	24.7	30.2	0.4	0.2	104.9	105.5	160.4
2010	23.3	23.9	0.3	0.3	96.3	96.9	144.1
2011	22.8	52.1	0.4	0.3	107.9	108.6	183.5
2012	65.2	57.8	0.6	0.4	136.7	137.7	260.7
2013	148.7	38.7	0.5	0.3	112.0	112.8	300.2
2014	143.2	36.4	1.0	0.9	104.0	105.9	285.5
2015	152.5	31.9	1.0	0.6	118.6	120.1	304.5
2016	115.0	52.1	1.8	1.0	148.3	151.1	318.2
2017	101.7	40.1	1.4	0.8	110.9	113.1	254.9
2018	65.6	43.5	2.0	0.4	108.1	110.4	219.5
2019	79.0	29.7	1.0	0.5	146.0	147.5	256.3

\*根室振興局管内は根室市のみの集計

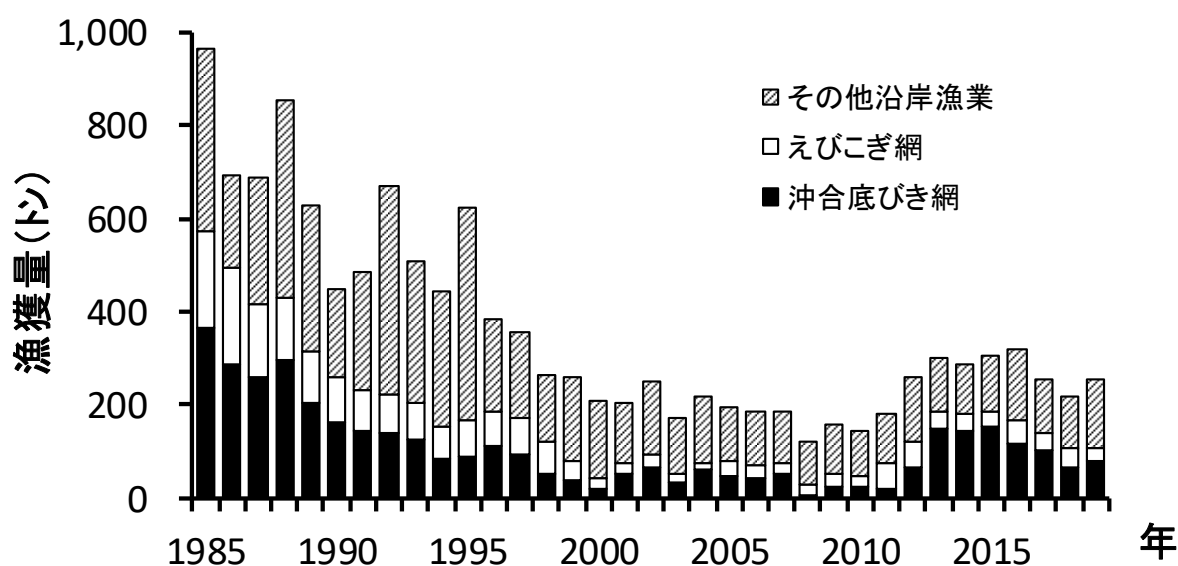


図1 道東太平洋海域におけるキチジの漁業別漁獲量（単位：トン）

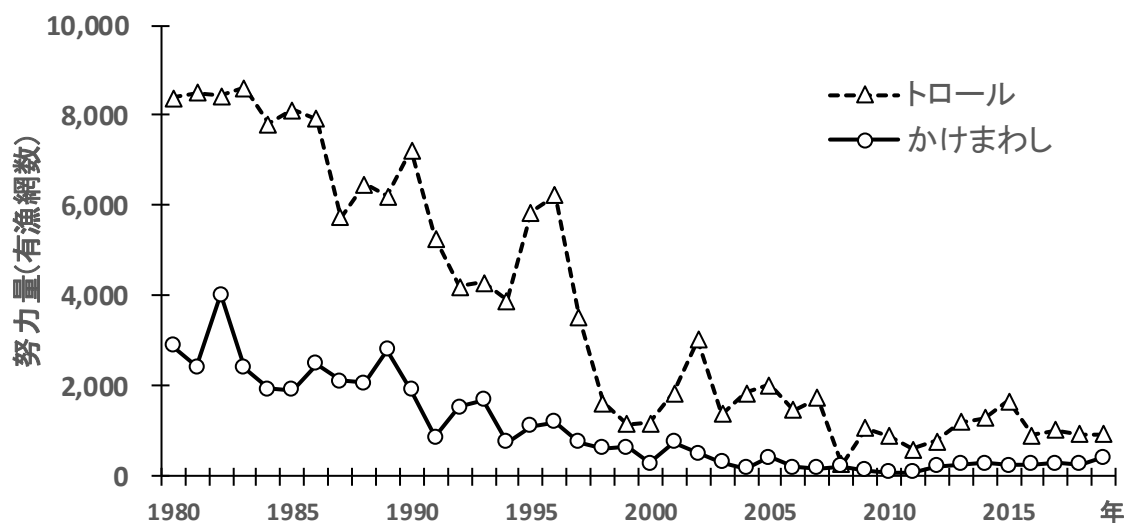


図2 道東太平洋における沖合底びき網の有漁曳網回数の経年変化

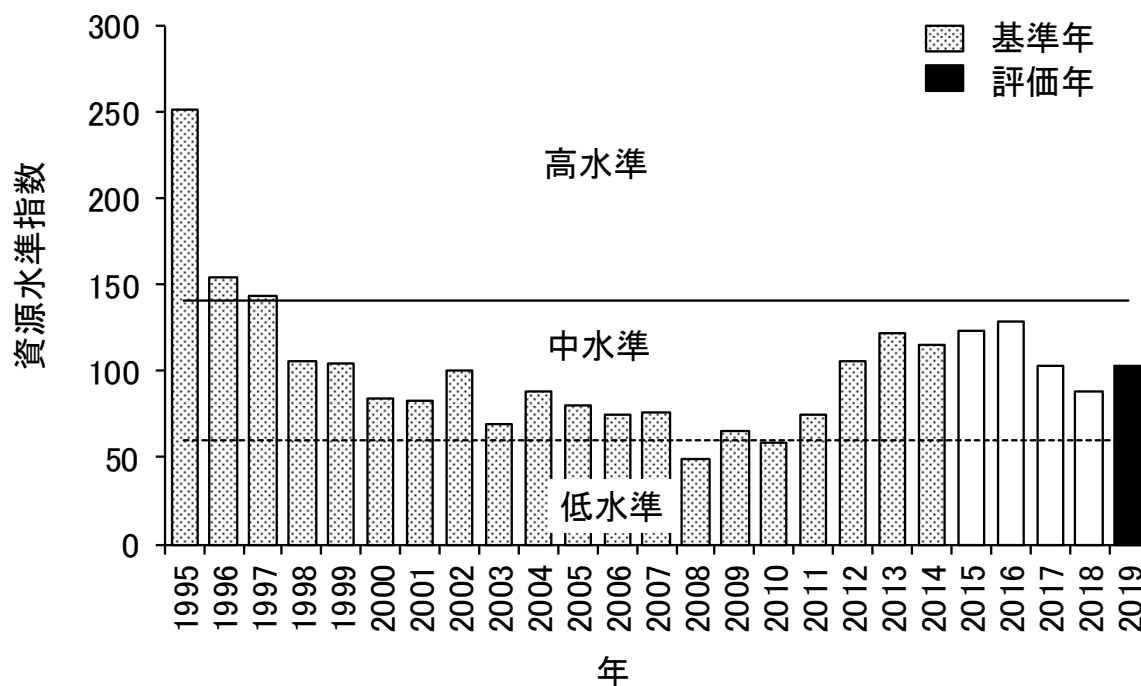


図3 道東太平洋海域におけるキチジの資源水準 (資源状態を示す指標：漁獲量)